



令和4年度 岡本基金海外研修・研究事業 海外福祉オンラインセミナー開催要項 ～海外の福祉実践から、私たちの実践を俯瞰して考える～

1. 主 旨

新型コロナウイルス感染症により、オンラインを活用した研修が普及してきた一方、海外渡航を伴う研修は未だ実施困難な状況にあります。

そこで、本セミナーでは、オンラインでの講義、講師・参加者間の意見交換を通じて、スウェーデンの福祉事情を学ぶとともに、両国の共通点や特性を捉えることで、日々の社協事業や実践へのヒントを見出すことを目的に開催します。(全3回)

2. 日程・内容

日程、テーマ及び概要	
第1回 オンデマンド 配信	11月16日(水) 配信開始 「スウェーデンの社会福祉とその背景 ～歴史、地方自治、教育システムから学ぶ～」
	スウェーデンの社会福祉の概要を、その土台となる文化や歴史的背景、地方自治、教育システム(学校教育や生涯学習)などとともに学ぶことで、同国の社会福祉の特性への理解を深める ----- ポイント：福祉国家の基盤である民主主義を成り立たせる歴史や教育(学校教育やスタディサークル活動など)にも触れつつ、2日目以降のプログラムにつなげます
第2回 ライブ配信	12月20日(火) 15:00～17:00 (日本時間) 「スウェーデンの社会参加支援及び介護者支援」
	ひきこもりやヤングケアラーなど、社会的孤立を背景にした課題が日本では顕在化している中、スウェーデンでは、どのような孤立対策や参加支援の仕組みがあるのかを学ぶ。また、ケアラー支援条例の制定など、日本でも対応が急務とされている介護者支援についても学ぶ(講義後の質疑を通じて理解を深めます) ----- ポイント：住民とともに福祉のまちづくりを推進する社協職員の実践に引き付けられるよう、社会参加支援や介護者支援について学び、考える機会とします
第3回 ライブ配信	令和5年1月31日(火) 15:00～17:00 (日本時間) 「スウェーデンの意思決定支援」
	スウェーデンにおける、高齢者・障害者が自分らしく暮らしていくための個別化されたケアの提供や、終末期の看取りも含めた本人が主体となった意思決定支援のあり方について学ぶ(講義後の質疑を通じて理解を深めます) ----- ポイント：高齢者や障害者の自己決定を尊重した個別化されたケアや、成年後見制度などを含めた権利擁護体制について学び、考える機会とします

※第3日目の終了後、気づき・学びを振り返った簡単なレポートを提出していただきます。

3. 講 師

エーミル・オストベリ 氏 (スウェーデン・クオリティケア)

備酒 伸彦 氏 (神戸学院大学総合リハビリテーション学部 教授)

4. 参加費 無 料 (全額を岡本基金から負担)

5. 参加対象者 市区町社会福祉協議会職員

※中堅職員を主な対象としますが、海外の福祉事情に関心がある社協職員はどなたでも参加いただけます。

参加にあたっての留意点

- ・全3回の参加を基本とします（部分受講不可）。
- ・第1回の講義（オンデマンド配信）を視聴したうえで、第2回のセミナーにご参加ください。
- ・第2・3回は、現地からの講義と意見交換（グループ別）を交えたオンライン研修です。

6. 定員 25名

7. 申し込み方法 Google フォームのサイトにアクセスしてお申し込みください

➤URL:

<https://onl.sc/7HXgQDd>

➤右記の二次元バーコードからもアクセスできます

➤締切：11月9日(水)



- ・1社協より複数名が参加する場合は、お手数ですが原則参加者ごとにお申し込みください。ただし、1台のPCから複数名で参加する場合は、申込フォームにお二人目以降の氏名等の記入欄を設けていますのでご記入ください。

8. その他

- ・研修時にアクセスしていただくURLは、受講決定の通知に際してお知らせします。

◆◆ 講師のご紹介 ◆◆

エーミル・オストベリ 氏(スウェーデン・クオリティケア)(全3日間ご指導いただきます)

ストックホルム大学でMBAを取得後、語学にも強い関心を持ち、日本で長期滞在（早稲田大学で日本語学学士号を取得）をするなどの親日家。スウェーデンの高齢者・障害者・児童福祉、認知症ケア等を専門に大学や病院等で流暢な日本語を駆使して多くの講演を行っておられます。現地スウェーデンに訪れる日本の視察団への福祉研修、講義、施設の紹介や通訳、日本の学生を対象とした研修でも自ら通訳として学生たちをサポートし、日本とスウェーデンの福祉の架け橋になるべく奮闘しておられます。また、視覚障害者としてパラリンピックに3度出場し、2002年のソルトレイクシティオリンピックで銀メダルを獲得した経歴をお持ちです。

➤スウェーデン・クオリティケア URL <https://www.swedishqualitycare.jp/>

備酒 伸彦 氏(神戸学院大学総合リハビリテーション学部 教授)(2・3日目にご指導いただきます)

県福祉人材研修センター主催の「福祉従事者新任職員研修（高齢者福祉）」で長年ご指導をいただいている備酒先生には、令和元年に社協職員7名を派遣した「北欧の保健福祉サービスと日常を感じる視察研修旅行」にて同行解説をいただきました。日本とスウェーデン両国の福祉事情に精通しておられるお立場から、プログラムの2・3日目にご指導をいただきます。

【お問合せ先】 兵庫県社会福祉協議会 企画部（担当：長谷川）

〒651-0062 神戸市中央区坂口通2-1-1

TEL 078-242-4633

FAX 078-242-4153